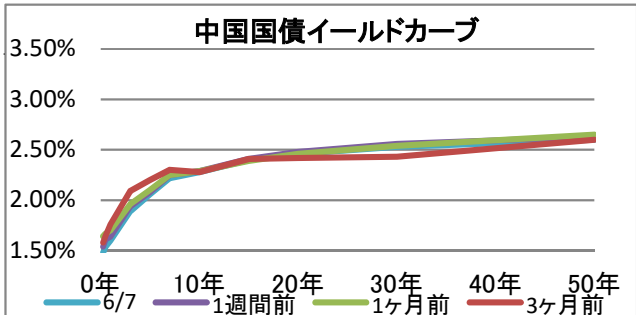
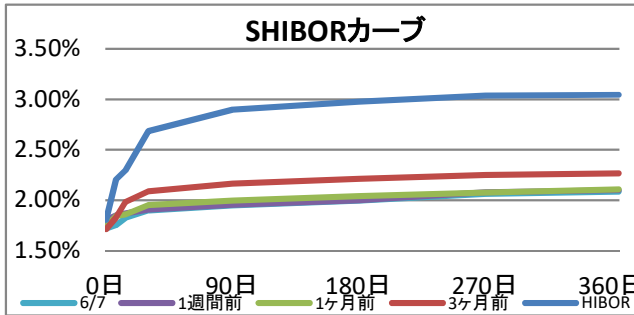


基準レート		2024/6/7	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1106	+0.0018
	JPY/CNY	4.5984	+0.0373
SHIBOR	3M	1.9490%	-0.0060%
国債利回り	10年	2.28%	-0.01%
上海総合指数		3,051.28	-35.53



(1) 概況

国際金融市場では、前週の流れを受けた早期利下げとソフトランディングへの期待の高まりから、株式市場、債券市場ともに上昇（債券利回りは低下）する状況で米雇用統計に備える展開となり、米雇用統計が市場予想を上回る内容となると、株式市場、債券市場ともに上昇幅（債券利回りは低下幅）を縮小することとなった。外為市場はこの間も小幅な値動きに終始。

中国金融市場では、財新PMIが製造業・非製造業ともに改善したものの、政府の不動産支援策に対する懐疑的な見方や対中摩擦激化への懸念等から、株式市場は下落し、債券が買われる（利回り低下）状況が継続し、外為市場では、米利下げ観測を受けたドル安基調にも拘わらず、景気の先行き懸念に加えて季節的なドル需要増もあって、7.24台での小幅な値動きに終始。

中国では、習主席が「新しい質の生産力は、高い質の発展を推進する本質的な要件」と題する文章を公表し、訪中のパーレーン国王と包括的戦略的パートナーシップを締結し、李強総理は国務院常務会議で、ベンチャーキャピタルの育成や不動産市場の安定・在庫削減のための政策措置等を議論し、UAE大統領との会談で、貿易投資拡大やエネルギー、ハイテク分野等での協力強化を確認し、中国政府はUAEと締結した「中銀デジタル通貨に関する覚書」の枠組みに沿って協力強化を図る方針を示した。財政部は、新エネ車の買い替え促進策原資として、64億4千万元（約1,400億円）を地方政府に交付すると公表し、工業情報化部は自動運転レベル3の公道試験を初めて承認し、国有資産監督管理委員会は、中央企業によるESGの取り組み強化等に関する指導意見を発布。中国人民銀行は、多国間中銀デジタル通貨プロジェクト・mBridgeが「最小実行可能プロダクト」段階に達したと公表し、同プロジェクトにサウジアラビアが参加。国家金融監督管理総局は、本年の立法計画を公表し、第1四半期末の不良債権比率（1.59%）が昨年末対比横這いと公表し、国家外貨管理局は、適格国内機関投資家（QDII）による海外投資枠を10カ月振りに拡大し、香港金融管理局は、「クロスボーダー理財通」の一段の推進検討を示唆。この間、不動産関連では、各地方都市での住宅購入規制緩和や5月の住宅ローン金利低下、上海や深圳の住宅市場における購入意欲の回復が報じられる一方、香港裁判所による不動産大手・碧桂園の清算審理が再延期となった。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日6,140億元に対して、リバースオペ100億元を実施し、6,040億元を吸収。

(3) 主な経済指標

財新PMI（5月）は、製造業が51.7（4月、51.4）と、雇用は引き続き慎重ながら新規受注や生産の増加により改善（7カ月連続で50上回り）。サービス業も54.0（4月、52.5）と輸出を含む新規事業の増加から改善（17カ月連続で50上回り）。この結果、総合も54.1（4月、52.8）と1年振りの高い水準に改善。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7190%	1.7500%	1.7300%	
1W	1.7510%	1.8000%	1.7500%	1.6500%
2W	1.8250%	1.8500%	1.9000%	1.6600%
1M	1.8980%	1.9500%	1.9500%	1.8800%
3M	1.9490%	2.0000%	2.0000%	1.8900%
6M	1.9960%	1.9960%		1.9500%
9M	2.0630%			2.0300%
12M	2.0850%	2.9500%		2.0500%

中国人民銀行が5月末越えて供給していた資金の吸収を進めているものの、資金余剰の状況が続いており、四半期末が意識される状況にもなっていないことから安定しており、ターム物の調達ニーズは限定的となっている。

NCD市場では、6月末の四半期末への懸念は限定的で、金利水準は低位で安定している。ターム物金利は、1カ月は1.9%を下回り、3カ月も1.9%前後、6カ月は1.9%台半ば、1年も2.0%台半ばに低下して取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	5.40%	5.43%
1W	5.43%	5.45%
1M	5.65%	5.70%
3M	5.70%	5.75%
6M	5.75%	5.80%
12M	5.85%	5.95%

中国国内市場では、金利低下期待があることも手伝って、引き続き取り急ぎは見られず、利下げ時期を見極める状況であり、ターム物の出合いは限定的で、金利水準は、1カ月が5.6%台後半、3カ月が5.7%前後での出合いが続いている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.48%		1.81%	1.96%	2.11%
6M	1.54%		1.89%	1.99%	2.14%
1Y	1.60%	1.71%	1.98%	2.05%	2.21%
3Y	1.89%	2.01%	2.14%	2.18%	2.34%
5Y	2.06%	2.17%	2.23%	2.33%	2.51%
10Y	2.28%	2.45%	2.49%	2.60%	3.00%

米国債券市場は、週末に雇用統計を控えて前週の流れを受けた早期金融緩和期待が高まる展開となり、堅調に推移（利回りは低下）していたものの、注目の雇用統計は予想を上回る堅調な内容であったことから、利回り低下幅を縮小する結果となった。中国債券市場では、四半期末となる月ながら、月初の余裕ある資金需給に加え、個人を含め投資資金が消去法的に債券市場に向かう中、全体的に利回りが低下する展開となった。この結果、10年米国国債利回りは4.43%（前週末比-7bp）へと低下に転じ、10年中国国債利回りは2.28%（同-1bp）に低下を続け、利回り差は215bp（同-6bp）と小幅ながら縮小に転じた。

中国債券のイールドカーブは、歴史的な低水準（債券価格は高値）で一段と低下する状況が続いており、資本市場政策に対する期待はあるものの、不動産支援策による景気回復期待は高まらず、資金需給の良さや四半期末の短期債選好も手伝いカーブ全体が下方にシフトしており、フラットニング傾向とクレジットスプレッドの縮小が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-232.0 / -230.0
3M	-713.0 / -711.0
6M	-1,450.0 / -1,447.0
9M	-2,177.0 / -2,174.0
12M	-2,885.0 / -2,883.0

対ドル基準レートは7.1106と前週末比+18pipsのドル高元安、対円基準レートも4.5984と同+373pipsの円高元安と、対ドルでの大幅な元高水準での設定が続いている。中国国内市場では、欧米市場でドル安傾向に転じる中、季節的なドル需要もあって下げ渋る（元の上値重い）展開が続き、7.24台での小幅な値動きに終始し、小幅なドル安元高水準で週末を迎えている。

先物は、米中ともに金利水準が低下する方向での期待が高まる先行き不透明な状況にあることから、値動きは限定的な状況が続いており、1年物は前週同様に-2900前後での取引に終始。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.86%		1.67%
6M	1.83%	1.93%	1.64%
9M	1.84%	1.98%	1.65%
1Y	1.83%	1.96%	1.62%
3Y	1.88%	1.99%	1.75%
5Y	2.02%	2.14%	
7Y	2.10%	2.25%	
10Y	2.18%	2.34%	

金利スワップ市場では、債券利回りが低下を続けていることから、スワップ金利も中長期を中心に下方シフトが続き、債券利回りとの差であるスワップスプレッドは中長期での縮小が続いている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。